

平成29年度予算見積調書

課室名：環境政策課
 担当名：環境学習・放射線担当
 内線：3019 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B5	環境学習推進事業費		一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	環境学習推進費	
事業期間	平成 5年度～	根拠法令	環境教育等による環境保全の取組みの促進に関する法律、埼玉県環境基本条例		挑戦項目	10 新たなエネルギー社会の構築		
					分野施策	051143 地球温暖化対策の推進		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>環境への負荷を軽減し、自然がもたらす恵みを楽しむためには、県民の意識や生活スタイルを変革することが急務である。このような中で、環境について正しく理解し、環境を守ろうとする態度を養うための学習機会をより一層充実させることが不可欠である。</p> <p>平成24年10月の環境教育等促進法の施行を受け、県民各層の連携のもと、環境保全への意欲の増進や学校や職場における環境学習の支援の充実を図り、「環境にやさしい県」を支える人づくりを推進する。</p> <p>(1) 人材派遣などによる環境学習の支援 4,037千円 (2) 環境学習応援隊派遣事業 140千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 人材派遣や学習資料の提供などによる環境学習の支援 4,037千円 (ア) 環境アドバイザー・環境教育アシスタントの派遣：延べ300回（通年） (イ) 環境学習図書等の購入（通年） イ 環境学習応援隊派遣（随時） 140千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 自身の生活とそれを取り巻く環境との関わりをきちんと理解し、環境を保全するために主体的に行動することを促していく。 イ 企業等のもつ優れたノウハウを活用することで、学校だけでは対応しにくい環境教育の進展を図る。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>環境アドバイザー・環境教育アシスタント・環境学習応援隊派遣件数 平成27年度：237件→平成33年度：300件</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 環境問題に関する専門的な知識や豊富な経験をもつ県民と協働 環境学習応援隊登録企業等との協働により、学校で行われる環境学習を支援</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税（包括算定経費） (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細節) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費：9,500千円×1.0人=9,500千円								
予算額		財 源 内 訳						
		繰入金					一般財源	前年との 対比
決定額	4,177	4,117					60	△429
前年額	4,606	4,566					40	